

# 基礎期通信「ひたまり」

市立札幌開成中等教育学校

基礎期通信 NO.18

2020.12.24.(Thu.)

今年もありがとうございました。

今年一年みなさん、新しい生活様式の中で互いに協力をしながら、よく頑張りましたね。

明日から冬休みに入ります。今号は、ニセコの宿泊研修で同行していただいた久保先生からは、宿泊研修を終えて期待することを書いて頂きました。また、基礎期の先生方には「今年の1単語」をテーマとして、これまでを振り返ってもらいました。最後には、冬休み明けの連絡があるので、必ずお読みください。1月18日は元気な顔でまた会いましょう！

## 1. 主幹教諭 久保先生～本質を見極めるために～

今回の宿泊研修は、感染症対策のため様々な制限があるなか、皆さんの行動はとても素晴らしかったです。研修を通して、事前学習だけでは分からなかった多くのことを学ぶことが出来たと思います。実際に人に会って話を聞いたり、体験してみることの大切さを実感できたはず。この経験を今後の学校生活に活かしてください。

皆さんの更なる成長を期待して一つアドバイスをすると、「物事を多角的に見るクセ」を身につけてください。例えば、円柱は横から見たら長方形ですが、上から見たら円です。見る方向が変われば違った形に見えます。世の中は、円柱のように単純な形だけではありません。様々な角度から見て、考えることで「物事の本質を見極めた内容」となり、相手への説得力や納得力へとつながります。充実期の深い学びに向け、ぜひ取り組んでみてください。

## 2. 基礎期主任 森先生～ゆとり～

コロナによって、予想外の事態がたくさん起こり、自分の考え方を見直す機会になったと思います。これまでの仕事の向き合い方として、マンパワーを維持することを常としてきたのですが、今年度予想外の事態がたくさん起こりバタバタすることが…。人に迷惑をかけてはいけませんし、それではいけませんよね。今は、少し精神的にゆとりのある生活をするように心がけるようにしています。最近は、時間をかけてじっくり考えることもいいものだなあと思うようになりました。

みなさんも、コロナによるストレスもあるでしょうが、そこから新たな気付きもあったと思います。ぜひ、ポジティブにも捉えて2020年を振り返り、来年の成長につなげてください。

## 3. 基礎期副主任 横内先生～試行錯誤～

コロナ渦でジムも行けない日々…。ある日「そうだ、熊を彫ってみよう。」と思いつき、これまで何体が彫ってきました。どんな木が彫りやすいか、塗料はどんなものがあるのか、開成の美術の先生に聞いたら全員とっても親切に教えてくれました。いざやってみると、想像以上に難しい！うまいかない！やってみて初めてわかることもあるのですね。でも、やってみたら体感する楽しさや達成感もありました。みなさんの楽しいこと、夢中になれることは何ですか？冬休みの時間を有意義につかって充実させてくださいね！

## 4. 1-a 担任 大町先生～デビュー～

今年、私は3つのデビューをしました。①社会人デビューをしたこと（働くって大変！）。②部活動でコー

デビューをしたこと（広い視野で味方の修正点、敵の弱点を見つけるのが難しい！）。③車デビューしたこと（昨年までペーパードライバー、今は毎日車通勤、冬道怖い！）。デビューする時は分からないことがたくさんあるけれど、慣れてくると楽しさも得られるようになります。まだ思うようにいかないところはありますが、これからの生活がより楽しくなるように頑張りたいです。

## 5. 2-a 担任 片山先生～評価～

「評価」みなさん、気になりますよね？かく言うわたしもその一人です。点数、評点、偏差値、順位、（陸上をやっていたので）タイム、距離…。これらは自分の頑張りや成長あるいは怠け具合を数値という非常にわかりやすい形で示してくれるものでした。良い「評価」を取れるように努力をすればよいし、悪ければ改善すれば良い。このように「評価」はいつも自分にとって目指すべき方向性をいつも示してくれるものでした。しかし、働き始めるととたんに「評価」が曖昧になる…。とたんに自分がどの方向に頑張ればよいのか、今やっていることは間違っていないのか…何が正解か分からない、しかも正解は複数あったりする。何年も経たないと答えが分からなかったりする。そんな壁にぶち当たる今年1年でした！それではみなさんに問題です。そんな片山にみなさんだったらどうアドバイスをしますか？そうならないためにどうしたら良いと思いますか？みなさんの考えを教えてください！待ってます😊！

P.S. 最近ではTwitterやInstagramのフォロワー数やいいねの数なんかも「評価」に入りそうですね。

## 6. 1-b 担任 ビリヤスイス先生～Here, Now～

「ここ、今」という意味です。今年はコロナ関係で「行きたいのに行けないな～」「やりたいけど、今は出来ないな～」と悔しい場面が多かったです。だけどその分、HereとNowと向き合い、「だったら今、ここで何が出来るのだろうか？」と考えられるようになりました。「耐える」など我慢するだけ結局何も産み出さないネガティブ思考から、今の環境の中から出来ることを探し、ポジティブにぐんぐんと前へ進める人間に成長した気がします！

## 7. 2-b 担任 野澤先生～ネガ×ネガ＝ポジ？～

個人としては本厄の年でもあり、1月に明治神宮へお詣りにいったのを覚えています。マイナスな感情から始まったこの1年ですが、「厄年だから悪いこと多くおこるなあ。でも、そう考えると来年はこれよりは良いんだ」と割り切れるように感じました。ついマイナス思考になってしまうことは誰しもあると思いますが、その感情をそのまま発言してしまうのか、自分の中で消化して行動するのは大きく違うと思います。ぜひ、お互いを高め合えるチーム・学年を目指してください！来年もきつともっといい年に！！

## 8. 1-c 担任 宮谷先生～変える～

今年の1年は多くの変化がありました。社会的には新型コロナウイルスの流行による生活様式が変化し、個人的には結婚という大きな変化もありました。「変わる」世の中や状況に対して、自分は何を「変える」のかということ強く意識した1年だったと思います。社会や状況にただ流されるのではなく、よりよい形を目指して自分自身を「変える」ことを、今後も大切にしていきたいです。

## 9. 2-c 担任 小川先生～協働～

今年の4月にこの開成に来て、初めてのことでばかりでした。一人では出来ることが限られており、周りの先生方に協力をいただきながら、働いていました。普段の業務をこなしていくうちに、周りの先生方の協力

があつてこそ、業務が成立しているんだと感じた1年でした。いわゆる”協働”ですね。”協働”と言えば…皆さんは、「協働スキル」を発揮できていますか？コロナ禍とは言え、会社活動等に頑張っており組んでいると思いますが、周りの人から協力してもらってとても大事なことですよね。今後もこの状況は続いていくと思いますが、与えられた環境の中で、お互い協力していきながら乗り越えていきましょう！

## 10. 1-d 担任 阿部先生～ありがたし～

古語の「ありがたし」は複数の解釈ができる。2020年は私にとって、まさに「ありがたき」1年だった。「ありがたき」病気が流行り、「ありがたき」世の中となり、そこで「ありがたき」経験をした。コロナ禍を快適に過ごすことは「ありがたけれ」ど、そこに立ち向かう人々を「ありがたく」感じる日々だった。

さて、5つの違う「ありがたし」の意味を当てはめてみてください。

2021年は、どうか今よりも好転し、みんなの笑顔が増える1年となりますように。

## 11. 2-d 担任 大園先生～癒し～

今年は色々な経験ができた新たな年でした。みなさんもイレギュラーな対応を強いられた年で、正直大変なこともあったと思います。私はそんな状況下でも、幸せや癒しを感じる事が本当に多かったなと感じています。みなさんと話したり授業内で成長を目の当たりにしたり…みなさんの笑顔や頑張っている姿を見て心底幸せな気持ちになっていました。ありがとうございます！2021年もみなさんから元気や癒しを貰って、私からもみなさんに元気や癒しを分けられたらいいなと思います。この学年での残りの時間も楽しんでいきましょうね！

## 12. 1-e 担任 ファレス先生～Change～

This has been, in many ways, an unusual year. It radically changed the lives of millions of people around the globe. Many complain about the situation, others try to look on the bright side and take it as a challenge, some others try to take advantage of it… anyway… I think it is a chance for us, the human race, to see how vulnerable we are and change the way we treat our mother nature.

## 13. 2-e 担任 大坂先生～拓～

私は今年の漢字として「拓」を選びました。今年は新しい生活スタイルを確立するにはあまりにも試練の連続でした。多くの場面で変化を受け入れることが求められ、普段通りの生活を過ごすことを支え工夫してくれている人がこんなにも多くいることに気づき、感謝する日々でした。またこうした逆境の中であっても、希望をもち、現状を打開しようとする使命感やフロンティア精神を持つ人が世界中にいたことは、嬉しいニュースとして伝えられているところです。懸命に挑む誰かがいることを知る度に、高校の教科書に載っていたこの言葉を思い出したので紹介します。

”Give us serenity to accept what cannot be changed, courage to change what should be changed, and wisdom to distinguish the one from the other.” 2021年1月にまた笑顔で会いましょう。

## 14. 1-f 担任 五十嵐先生～順応～

今年一年は私生活ではイベントごとや外出を、学校では行事やグループ活動を自粛したり、制限したりと我慢の年だったのかなと思います。その中で、学校生活では、換気の方法や密にならない授業、給食の隊形等、私生活では、家でできるトレーニングを実践したり、外食の代わりにテイクアウトや出前を使ってみた

り等、今できることを考え、環境に順応しながら生活できたと思います。「with コロナ」という言葉があるように、この環境の中で、今できることを最大限活かして、充実した学校生活にしていきたいと思います。

## 15. 2-f 担任 ダクワス先生 ~ This year's word: flexibility. ~

Looking back over this year, there have been many difficult situations in the world. Corona virus has affected many people and changed the way many people study, work, and live. We can see that many people had to think how to manage the changing situation in the world and it was encouraging that people could do so. For example, online class or meetings, online shopping or food delivery for restaurants with no customers. I think that this can be a good lesson for us all: we might feel bothered because the way we are used to does not work anymore but if we get ready to adapt to the situation, we can find a new way and not just survive but do well! Let's be flexible and be ready for the changing world!

## 16. 基礎期付 今前田先生 ~ 底力 ~

今年は今までにない特別な1年でした。コロナ感染拡大による休校や外出自粛など誰もが経験したことないことがあり、この先どんな困難があるのだろうと不安でした。しかし、皆さんと出会い、ともに学校生活を過ごす中で、こんな状況下でも学習面や生活面、人としてしっかりと成長している姿を見て、皆さんの底力を感じました。そんな皆さんから、いつも元気とパワーをもらっています。これから先、どんな困難があるか分かりませんが、皆さんなら互いに協力しあって必ず乗り越えられると思います。まずは冬休みにしっかり休んで休み明けも元気いっぱい頑張りましょう！！

## 17. 基礎期付 高田先生 ~ #7000 ~

急性虫垂炎になりました。夜10時に急な腹痛に襲われ、体のどこが痛いのか訳も分からない状況でしたが、そんな時奥さんが「救急車呼ぶ？」いやいや、すぐ収まるはず…と私は思っていたけど、奥さんは心配だからと”#7000”に電話しました。看護師の方が症状を聞いてくれ、救急車を呼んだ方が良いと判断してくれました。この時に電話していなかったら、更に辛い状況になったと思うと、#7000に感謝しかありません。

## 18. 冬休み明けの連絡 ~

12/25 (金) ~ 1/17 (日) : 生徒入校禁止 (16、17日は事前に予定されている場合は、入校可)

1/18 (月) : 1ss 前半「ここから」、後半「LHR」、2ss 通常授業、給食後下校

※冬季休業中の健康観察記録表・読書記録を提出すること※エプロン・三角巾等を忘れずに

1/19 (火)・22 (金)・28 (木) : 1ss・2ss 通常授業、給食後下校

1/27 (水) : 1ss・2ss 通常授業、給食後 LHR。その後下校

## 19. IB コラム⑫ インクルーシブな教育 (Inclusive Education)

インクルーシブな教育とは、簡単に言うと仲間外れを作らないということです。日本の多くの学校では、障がいの程度や言語の運用能力に応じて、通常の教室を離れて教育を行っていますが、どのような状況の子どもでも通常の授業の中で必要な教育が受けられるように、その環境や支援の体制を整えていくということが根底にあります。本校においては、学びの支援委員会という組織を通じて、日々生徒一人ひとりの状況を把握し、必要な支援について検討をしています。